



堀川1000人調査隊2010  
堀川水族館 かわら版

とリスキ  

堀川の水辺で見られる鳥たち  
種によっては成鳥と幼鳥、雌と雄で形や色が異なることがあります。ここでは種の識別がしやすい  
写真を選んで掲載しました。\*留鳥:堀川で年中見られる鳥、冬鳥:堀川で冬を越す渡り鳥

**カワセミ**



留鳥  
全長17cm

**イノヒヨドリ**



留鳥  
全長26cm

**セキレイの仲間**



留鳥 ハクセキレイ  
全長21cm

セグロセキレイ キセキレイ

**ユリカモメ**



冬鳥  
全長41cm

**コサギ**



留鳥  
全長61cm

**アオサギ**



留鳥  
全長95cm

**ゴイサギ**



留鳥  
全長58cm

**カワウ**



留鳥  
全長82cm

**カルガモ**



全長61cm 留鳥

**カイツブリ**



潜水が得意

全長26cm 留鳥

**マガモ**



全長59cm 冬鳥

**コガモ**



全長38cm 冬鳥

**オナガガモ**



全長75cm

冬鳥

**ヒドリガモ**



全長49cm

冬鳥

**ホシハジロ**



全長45cm

冬鳥

**キンクロハジロ**



全長40cm

冬鳥





## ボラ

堀川で見られる魚たち

## コノシロ



全長60cm



全長100cm



ボラ(20cm程度)の大量遡上



豪快にジャンプをする時もあります



水面をかすめるようにジャンプをする時があります。水をたたくようなピチャツという音がします。

堀川ではボラの幼魚(全長3cmから5cmくらい)が海から大群で遡上してくる様子が毎年見られます。時には全長20cmを超えるボラの大群が遡上して、川面を埋め尽くしたこともあります。落差がある猿投橋まで遡上することもあります。

河口の汽水域に群れて生息します。納屋橋付近でも見ることがあります。プランクトンを食べます。

## コイ



全長60cm

流れが緩やかな場所にいます。水草、貝、虫や他の魚の卵や小魚など、口に入るものなら何でも食べてしまいます。

## ニゴイ



全長50cm

砂がある場所を好み、川底近くを泳いでいます。小魚、虫、藻などを食べます。コイよりも細長く見えます。

## フナ



全長25cm

流れが緩やかな場所にいます。フナの仲間の多くは、水草、貝、虫などを食べます。

## オイカワ



全長25cm

石のある場所が好きです。石に付いた藻や水の中にある虫などを食べます。

## カマツカ



全長20cm

砂がある場所を好み、川底にいます。虫や小動物などを砂ごと口から吸い込み、同時に砂だけを認識(えらぶた)から吐き出しながら食べます。

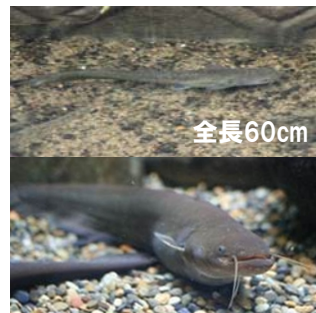
## ウナギ



全長100cm

明るい時は穴や泥の中などに潜んでいます。夜になるとエビや虫や小魚などを食べます。

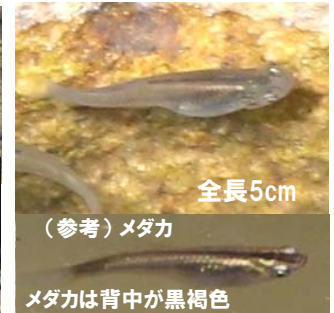
## ナマズ



全長60cm

明るい時は流れの緩やかな石や水辺の植物や藻の陰に潜んでいます。夜になると口のヒゲを利用して餌を探して、エビや虫や小魚などを食べます。

## カダヤシ (外来種)



全長5cm

(参考)メダカ

メダカは背中が黒褐色

カダヤシは外来種です。虫やプランクトンなどを食べます。直接仔魚を生む卵胎生の種です。メダカと似ています。間違えないようにしましょう。





堀川1000人調査隊2010  
堀川水族館 かわら版

# かに・えびスキ



堀川で見られるエビ・カニたち

## ベンケイガニ



甲幅3.5cm

## モクスガニ



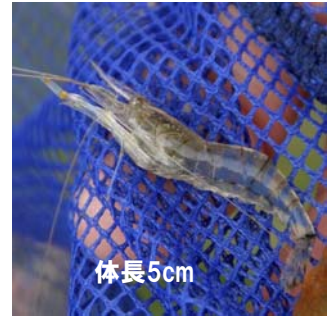
甲幅8cm

## テナガエビ



体長20cm

## スジエビ



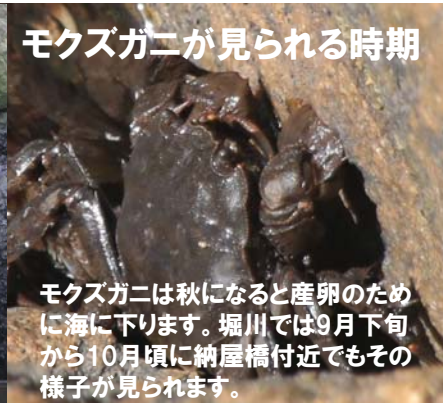
体長5cm

### ベンケイガニの生息場所



納屋橋にいるベンケイガニは、  
排水管の中から出てきます。

### モクスガニが見られる時期



モクスガニは秋になると産卵のため  
に海に下ります。堀川では9月下旬  
から10月頃に納屋橋付近でもその  
様子が見られます。

### アメリカザリガニ

(外来種)



体長12cm

写真撮影:堀川1000人調査隊2010 定点観測隊

堀川1000人調査隊2010  
堀川水族館 かわら版

# かめスキ



堀川で見られるカメの仲間たち

## イシガメ



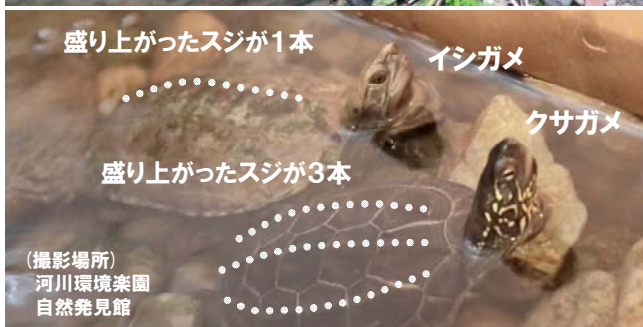
## クサガメ



## ミシシッピ アカミミガメ (外来種)



## スッポン



盛り上がったスジが1本

イシガメ

クサガメ

盛り上がったスジが3本

(撮影場所)  
河川環境楽園  
自然発見館

写真撮影:堀川1000人調査隊2010 定点観測隊